

岡山フィルハーモニック管弦楽団  
第83回定期演奏会

ソリスト  
竹澤恭子

指揮  
秋山和慶

巨匠たちが織りなす  
極上の響き

モーツァルト：歌劇「魔笛」より序曲

シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 | ブラームス：交響曲第2番

2025 3.2 日 | 14:00開演(13:00開場) | 岡山シンフォニーホール  
大ホール

[友の会発売日] 2024年12月1日(日) [一般発売日] 2024年12月8日(日)

S席 ¥5,500/A席 ¥4,400/B席 ¥3,300/B(ユース)席 ¥1,000

※「友の会」会員は10%割引。 ※B席ユースは19歳以下に限る(学生証をお持ちの方は25歳未満までご購入いただけます)

※未就学児童の入場はお断りいたします。また、小学生以上の場合には入場券が必要です。※やむを得ない事情により、曲目、出演者が変更となる場合があります。

※当ホールには駐車場がございません。公共交通機関のご利用をお願いします。

プレイ  
ガイド

岡山シンフォニーホールチケットセンター TEL 086-234-2010

岡山芸術創造劇場ボックスオフィス TEL 086-201-2200

岡山県音楽文化協会 TEL 086-224-6066

ざんざや TEL 086-222-3244

イープラス <https://eplus.jp/>

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:259-545]

ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:62515]

岡山シンフォニーホール/岡山芸術創造劇場 オンライン・チケット ▶



主催：公益財団法人岡山文化芸術創造

共催：岡山市 岡山県 RSK山陽放送 岡山県音楽文化協会

公演に関するお問い合わせ先 TEL:086-264-7177 FAX:086-234-7178 MAIL:oka\_phil@okayama-symphonyhall.or.jp

文化庁文化芸術振興費補助金  
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会

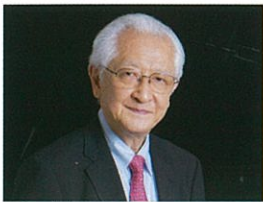
文化庁

独立行政法人日本芸術文化振興会



# 岡山シンフォニーホールで聴く 巨匠達が織りなす極上の響き

※岡山シンフォニーホールは2025年6月より2年間大規模改修のため閉館させていただきます。



©堀田カ丸

## 秋山和慶 指揮

KAZUYOSHI AKIYAMA

齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、トロント響副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督（現在桂冠指揮者）、シラキウス響音楽監督、大阪フィル首席、札幌響首席、広島響首席、九州響首席などを歴任。サンフランシスコ響、クリーヴランド管、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放送響、ケルン放送響、ベルリン放送響、スイス・ロマンド管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。これまでに第6回

サントリー音楽賞（1975年）、芸術選奨文部大臣賞（1995年）、大阪府民劇場賞（1989年）、大阪芸術賞（1991年）、第36回川崎市文化賞（2007年）、広島市民賞（2008年）をはじめ、東京響とともに毎日芸術賞（1994年）、第8回京都音楽賞大賞（1993年）、モービル音楽賞（1996年）、第29回サントリー音楽賞（1997年）を受賞。2001年11月に紫綬褒章、2011年6月には旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞（広島）、徳島県表彰特別功労賞を受賞、2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。2014年指揮者生活50年には、回想録「ところで、きょう指揮したのは？」（共著／アルテスパブリッシング刊）を出版。現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、岡山フィルハーモニック管弦楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ芸術顧問など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。2024年には指揮者生活60周年を迎えた。



©松永学

## 竹澤恭子 ソリスト／ヴァイオリン

KYOKO TAKEZAWA

3歳からヴァイオリンを始め、桐朋女子高校音楽科在学中に第51回日本音楽コンクール第1位、併せてレウカディア賞、黒柳賞を受賞。1986年第2回インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールで圧倒的な優勝を飾る。以来、“世界のKYOKO TAKEZAWA”として国際的スターダムを昇り続けている。これまで、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、フィラデルフィア管、モントリオール響、ロンドン響、モスクワ放響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、バンベルク響、バイエルン放響、リヨン管、フィンランド放響、ローマ・サンタ・チェチーリア管、ロイヤル・コンセルトヘボウ管など、世界の主要オーケストラと共演。指揮者では、クルト・マズア、ズービン・メータ、

レナード・スラットキン、シャルル・デュトワ、リカルド・シャイー、ケント・ナガノ、クリストフ・エッセンバッハ、ヘルベルト・ブロムシュテット、小澤征爾らと共演している。2011年フィルハーモニア管弦楽団のスペインツアー、2012年ヘンゲルブロック指揮ハンブルク北ドイツ放送交響楽団の日本公演で共演、2014年には東京フィルハーモニー交響楽団100周年記念ワールドツアーのソリストを務め、高い評価を得た。2018年シーズンはデビュー30周年を迎え、各地でリサイタルツアーを成功させた。また、才能教育研究会で学んだ経験を生かし、教育活動とともに、メニューイン、ロン＝ティボーなど国際コンクールの審査員も数多く務める。アスペン、ルツェルン、水戸室内管弦楽団、セイジョザワ松本フェスティバル、別府アルゲリッチ音楽祭への参加など、世界的な音楽祭にも出演を重ね、協奏曲、室内楽、リサイタルと幅広く活躍。CDは、RCAレッド・シールより多数リリース。第3回出光賞、愛知県芸術文化選奨文化賞を受賞。使用楽器は、1724年製アントニオ・ストラディヴァリウス。現在、東京音楽大学教授、桐朋学園大学特任教授。

## 岡山フィルハーモニック管弦楽団

OKAYAMA PHILHARMONIC ORCHESTRA



1991年に開館した岡山シンフォニーホールは、国内外のアーティストから音響の素晴らしいホールとして高い評価を獲得。これを機に文化庁の補助を受けて、岡山にゆかりのあるメンバーを中心に優れた演奏者で構成された岡山県初のプロオーケストラ、岡山フィルハーモニック管弦楽団が1992年に創設。以来、世界の著名な指揮者・ソリストを迎えて開催する定期演奏会をはじめ、若い演奏家の育成事業、青少年の情操教育に資する事業、子育て支援や地元演奏団体との共演等、地域における音楽芸術振興の中心的役割を担っており、公演回数は年間100回を超えている。また、2013年には岡フィル初の首席指揮者としてハンスイェルク・シェレンベルガーが就任し岡フィル強化に取り組んできた。2022年度からは秋山和慶がミュージック・アドバイザーに就任、一層の飛躍を図る。今後も岡山独自の音楽スタイルをもつ「おらがまちのオーケストラ」として皆様から誇りと愛情をいただける楽団へと成長すべく挑戦を続けている。平成12年第1回岡山芸術文化賞グランプリ受賞。平成15年第4回福武文化奨励賞受賞。平成16年第1回マルセン文化賞受賞。平成21年度岡山県教育関係功労者表彰。平成24年山陽新聞奨励賞受賞。